

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千里丘複合施設プロジェクト	階数	地上5F
建設地	大阪府吹田市尺谷	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、指定	平均居住人員	51人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2023年2月28日
敷地面積	1,567㎡	作成者	白川和江
建築面積	752㎡	確認日	2023年2月28日
延床面積	2,899㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・室内環境への拝領を行う		特になし
・サービス性能への配慮を行う		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・壁・天井などの内装材は全てF☆☆☆☆を採用 ・共用トイレ、脱衣室等における床仕上げは抗菌製品を採用	・バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている ・各個室の天井高2.5m確保	・条例基準の緑化率を満たしている ・条例基準の雨水浸透槽を設置する ・緑地の維持管理(水やり・育生・剪定作業など)に努める ・通りからも緑化
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・省エネ モデル建物法基準クリア	・基準法レベル確保	・条例等に準拠した内容になっています

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0163

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)千里丘複合施設プロジェクト							
	建設地	吹田市尺谷							
	用途/区分	病院 事務所 工場							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			3					
③	建物の断熱性			5					
④	エネルギー削減			3					
⑤	自然エネルギー直接利用			—					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.0	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	4.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.7	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.8	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		